

<大平地域>

■ だいちゆうじ 大中寺の七不思議 ふしぎ

② あぶらざか 油坂



本堂前の右段の坂。昔、この寺に

しゅぎょう 修業に来ていた学僧が、毎夜、本堂の

とうみょう 灯明の油を盗んで勉学のための とうか 灯火

としていたが、ある夜、盗みの現場を発

見されて追われ、この石段から転げ落ち

て死んでしまった。以来、ここを登り降りすると、必ず何か凶事 きょうじ があるといわれ、今も石段の上下に竹のしきりを設けて通行できないようにしている。

ここはもともと坂だったが、のちに人々が死んだ学僧の れい 霊を くよう 供養しようと、せきひ 石碑がわりにわれもわれもと石を積み上げたため、石段になったのだともいわれている。